

# 風物詩

## 柏原市 商工まつり&市民郷土まつり

河内の一大イベント、「柏原市民郷土まつり」と「河内音頭おどり全国大会」が例年とは日程を変え、9月30日（日）午前10時から柏原市役所前大和川河川敷緑地公園で行われました。柏原市民郷土まつりは、昭和53年に柏原市制施行20周年記念行事の1つとして開催されたのが最初で、通算28回目。今年は、商工まつりと共同で初めての開催となりました。

当日は、あいにくの空模様で断続的に雨が降っていましたが、当初の予定とは多少プログラムを変更し、フリーマーケットやアニメ映画上映、吹奏楽演奏、ものまねショー、チャリティーオークションなど多彩なイベントで盛り上がりました。

午後4時30分からは、柏原市、八尾市、東大阪市3市の中河内広域イベントである河内音頭おどり全国大会が始まりました。市内では、夏から秋にかけて各所で盆踊りが盛んに行われます。子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が参加し、河内音頭独特のリズムと唄に合わせて、にぎやかに繰り広げられます。その中心的イベントとなる河内音頭おどり全国大会は、昭和61年から始まり、今年で通算21回目。1チーム10名程度で参加し、そのチームワークや



踊りの技術性・芸術性、衣装のユニークさ・華麗さを競っています。

今年は26チームが参加し、柏原市河内音頭連合会の音頭取りによる河内音頭で、300名余りが踊りを舞いました。参加者は、櫓の周りを取り囲み、息の合った踊り、個性豊かな踊りを披露しました。踊りの輪に飛び入り客も加わり、会場は一層の盛り上がりを見せました。踊り手の熱気と観客の声援がさめやらぬ中、グランプリは、みっちゃん会、準グランプリは、八尾自衛隊Aチームが受賞し、河内音頭おどり全国大会は幕を閉じました。

午後6時30分からは、吉本興業の若手芸人による漫才と大抽選会が行われ、豪華賞品の行方に参加者は一喜一憂していました。最後は、「迫力の和太鼓 飛龍」。大和川河川敷に力強い太鼓の音色が鳴り響き、まつりのフィナーレを飾りました。



### ● お問い合わせ先 ●

柏原市役所市長公室広報聴課

TEL : 072-972-1501 (内線2448)

E-mail : info@city.kashiwara.osaka.jp